



＜ロジスティクス管理者必須トレーニング＞

20130724 一裏面申込

案内一

第12回TAPAアジア公認審査員養成・内部審査員取得講座

＜TAPA-FSR、TSR／倉庫保管・輸送のセキュリティ実践トレーニング＞

＜開催趣旨＞

物流の国際化の進展に伴い、世界の多くの企業からTAPA認証の必要性が要求されるようになってきました。即ち、貨物保管・輸送におけるセキュリティ確保—TAPA-FSR 認証取得が、貨物受発注における大きな判断基準になっております。

日本支部において、1997年から開始しましたTAPA-FSRトレーニングも今回で第12回目となり受講された方々はすでに140名を超えております。また、2009年3月より日本語での講義を開始したことにより、参加者の皆様方より講義内容が解りやすいとの評価をいただいております。

今回の内容は、FSR認証に加え、昨年より審査・認証が開始されたTSR-トラック輸送セキュリティ要求事項も解説致します。

TAPA主催の海外トレーニング講義の言語はすべて英語ですが、日本支部開催は日本人のトレーナーによる解説ですので、FSR要求事項の要点を理解しやすいのが特徴です。トレーニング終了後のTAPAアジア公認内部審査員認定証は、TAPAアジア委員会より発行され、海外でのトレーニングと同じ資格になっております。

ロジスティクス関係者の皆様方においては、本講座の受講を通して今後国際物流取引条件では必須となり得るTAPA-FSR、TSR認証についての正確な知識を習得されると同時に、TAPAアジア審査員資格前提条件及びTAPA-FSR内部審査員資格認定書が取得できます本トレーニングを受講いただきますことを、お勧め申し上げます。

＜開催日時＞ 2013年07月24日(水)～25日(木)(2日間)

＜開催場所＞ (社)東京都トラック総合会館 会議室

〒160-0004 東京都新宿区四谷3丁目1-8 TEL:03-3359-4133

＜募集定員＞ 15名 (先着順)

＜締切日＞ 2013年07月10日(水) (決済の遅れる方は、事前にお申し出ください)

＜受講費用＞ ￥118,000.- (1名様、消費税込) ※TAPA日本支部会員の方は1万5千円割引。

＜受講費に含まれるもの＞

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| A. TAPA アジア会員登録費用(US\$150) | D. トレーニングでの日英版テキスト |
| B. 2日間の全トレーニング受講料 | E. TAPAアジア委員会発行の修了証 |
| C. トレーニング開催中の昼食・飲物 | F. TSR及び食品・医薬品要求事項解説書 |

＜受講対象者＞

電子・精密機器メーカー、食品・医薬品、化学会社、フォワーダー、倉庫・輸送会社、

商社

セキュリティ機器・システム会社、警備サービス会社、建設・設備会社、損害保険会社、
コンサルタント会社及びサプライチェーン・セキュリティ関係者の方々など。

<講師>

- TAPAアジア日本支部代表・浅生 成彦ほか、日本支部教育・トレーニング担当2～3名が講師として参加。

<トレーニングプログラム> (詳細プログラムは開催日の10日前に配布の予定です。)

07月24日(水) TAPA日本支部トレーナーによるTAPA-FSRトレーニング

09:45～受付開始

10:00～10:45 国際物流セキュリティの規格・制度の解説 (AEO,C-TPATなど)

10:45～12:15 TAPA 概論(設立・普及経緯、組織、役割など) (途中休憩あり)

(昼食12:15～13:30)

13:30～16:30 TAPA-FSRスコアリングマトリックス解説(必須項目を中心として講義)

(途中休憩)

07月25日(木) TAPA日本支部トレーナーによるTAPA-FSR・TSRトレーニング

09:30～12:30 TAPA-FSRスコアリングマトリックス解説 (途中休憩)

(昼食12:30～13:30)

13:30～14:30 TAPA-TSR トラックセキュリティ要求事項及びTAPA-Food Defenseの概要解説

14:30～15:00 質疑応答、講評及び修了認定書授与

(注) 講師の都合により、講義順序・時間等が入れ替わることがありますことをご了承ください。

<参加申込方法>

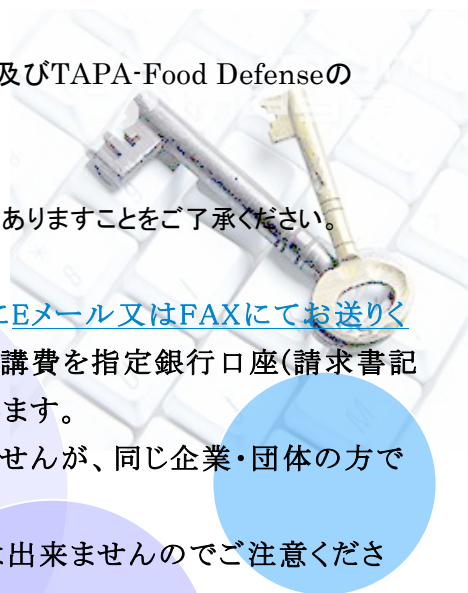
下記申込書に必要事項記入の上、[TAPA日本支部宛にEメール又はFAXにてお送りください](#)。申込み確認後請求書をお送り致しますので、受講費を指定銀行口座(請求書記載)へお振込みください。入金確認後受講票をお送りします。

(注) 一度お振込みいただきました受講料は返却できませんが、同じ企業・団体の方であれば

受講者を変更できます。但し、開催3日前以降の変更は出来ませんのでご注意ください。

<申込書>

| | | | |
|------------------|-------------|-----|-----------------|
| 会社名・住所 部署・役職 | 〒 | | |
| 受講者氏名 (複数記名可) | | | |
| 英文表記 | | | |
| 連絡先 e-mail | | | |
| 電話番号 | | 受講日 | 2013 年07月24、25日 |
| 日本支部会員 | ある() ない() | 短信欄 | |



<お問合せ/ お申込先>

一般社団法人 TAPAアジア日本支部

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 6丁目 85番地
FAX: 043-275-1523 TEL: 043-275-0532
e-mail: narihiko-asou@tbt.t-com.ne.jp
<http://www.tapa-japan.org/>
協力: TAPA 審査機関 (BV, TUV, DNV, SGS,

